



鹿児島県 幼児教育センターだより



第1号
令和7年9月発行



4月1日に幼児教育センターを鹿児島県庁内に設置しました。幼児教育センターでは主に①研修②支援③幼保小連携④情報発信の4つに取り組んでいます。

そこで、この「鹿児島県幼児教育センターだより」では、情報発信の1つとして、幼児教育アドバイザー派遣事業や、当センターが携わっている研修の様子について、また幼児教育に関する最新情報の発信等を行う予定です。

幼児教育アドバイザー派遣事業の紹介！

☆幼児教育アドバイザーについて

幼児教育アドバイザーとは、幼児教育の専門的な知見や豊富な実践経験を持ち、各幼児教育施設等を回り、指導方法や園内研修の支援等を行う職員のことです。

現在、本県では幼稚園及び小学校の勤務経験を有する2人の幼児教育アドバイザーを配置しています。4月から県内の各園を訪問し、園内研修で助言を行ったり、保育参観を通して、園児との適切な関わり方について一緒に考えたりしています。

【幼児教育アドバイザー活用例】

幼児教育アドバイザーを活用したとき、具体的にどのような支援や助言が可能かについて、ここではこれまでに派遣申請があった中から具体例としていくつか紹介します。

《1 保育参観を通しての支援・助言》

午前中に各クラスの保育活動や自由遊び、給食の様子を参観し、午後から園長先生、主任の先生と気付いたことをフィードバックしました。また、年長クラスを担当している先生からの相談（幼保小連携の在り方について）に対し、助言を行いました。

【当日の日程】

10:30～12:30 保育参観（活動・給食）

13:00～14:00 質疑応答・協議

- ・保育の様子について
- ・園内研修の進め方
- ・悩み相談 等



《2 園内研修での講話・助言》

事前に園内研修のテーマについて相談をいただき（今回は保護者から信頼される保育園の在り方について）、前半は幼児教育アドバイザーの講話を通して基本的な考え方を参加者全員が共有し、後半はグループに分かれてそれぞれが心がけたいことを協議していただきました。グループ協議の際にはアドバイザーも一緒に参加し、先生方の考えを聞きながら適宜助言を行いました。

【当日の日程】

14:00～14:50 研修テーマについての
講話

15:00～15:45 グループ協議・助言



《3 地区の幼保小連携での指導・助言》

地区の幼保小連携研修会では、午前中は幼稚園の保育参観・小学校の授業参観を先生方と共に参観し、午後からの研究協議では架け橋期カリキュラム作成のための話し合いに参加しました。グループ協議では参加している先生方の話を伺いながら、地区の幼児や児童の様子を踏まえ、どのような視点で架け橋期カリキュラムを作成すればいいか、悩みを共有したり、アドバイスをしたりしました。

【当日の日程】

10:15～11:15 保育参観（幼稚園）

14:00～14:45 授業参観（小学校）

15:00～16:40 研究協議

- ・ 授業、保育の振り返り
- ・ グループ協議



◎幼児教育アドバイザー支援事業を活用いただいた園の感想【一部抜粋】

- ・ これまで他園での研修内容などを知る機会がなく、経験に基づいた講話をもらい、保育士も腑に落ちることが多かったと思う。
- ・ 校長先生・園長先生を歴任された方がアドバイザーなので、具体例をあげながらアドバイスをくださりとても参考になった。何より、先生方が優しく安心して相談することができた。



@pref.kagoshima.greboo

このように、各園のニーズに応じて様々な形で支援を行っていきます。幼児教育アドバイザー派遣事業に興味をもたれたら、県のホームページ（幼児教育センター）の派遣申請書に必要な内容を記入して、メールやFAXで提出してください。また、電話での相談も受けつけておりますので、お気軽にご相談ください。

電話：099-286-2088 F A X：099-286-5561

メール：ikusei@pref.kagoshima.lg.jp



こちらの二次元コードを読み取ると、鹿児島県幼児教育センターのホームページを確認することができます。↑